

カトリック京都教区  
共同宣教司牧ブロック  
担当司祭各位・小教区評議会役員各位

## 京都教区 平和旬間の取り組みのお願い

京都教区いのち・平和・環境委員会

+主の平安

いつも、福音宣教にご協力くださり、ありがとうございます。

さて、日本カトリック司教協議会は、37年前の1981年2月25日、聖ヨハネ・パウロ二世教皇が広島でなされた力強い「平和アピール」に呼応して、翌年から8月6日～15日を「日本カトリック平和旬間」と定めました。この10日間を平和旬間としたのは、広島と長崎の原爆記念日および終戦記念日が集中しているからです。言うまでもありませんが、平和のために祈り、平和について学び、考え、平和のために活動することは、決してこの期間に限定されることではありません。6月23日の沖縄「慰霊の日」を忘れてはなりませんし、一年を通して平和のために祈り、平和について学び、考え、平和のために必要な行動をとるよう努めなければならないのです。しかし、特にこの期間を、いつもより有意義に過ごすことが望まれます。そして、この期間、日本の全教区で、平和に関する取り組みが行われています。

京都教区では、8月6日～15日の「日本カトリック平和旬間」の間にある日曜を、「京都教区平和祈願の日」として、主日のミサの中で、平和のために祈ります。また、各教会や共同宣教司牧ブロックなどで、この期間に、平和のための取り組みをお願いしています。

また、毎年中学生広島巡礼を8月5日～7日の2泊3日で、平和学習の巡礼として行っています。これには、済州教区の中学生を招待して、一緒に巡礼を行っています。

2018年の平和旬間のために、今年も各教会や共同宣教司牧ブロックで、いろいろな活動を企画されると思いますが、特に以下の点に留意していただき、実りある企画となるようお願いいたします。

なお、企画が決まりましたら、教区本部にメール ([honbu@kyoto.catholic.jp](mailto:honbu@kyoto.catholic.jp)) にてお知らせください。京都教区のホームページに掲載いたします。

### ① 教皇「世界平和祈願日」(1月1日)のメッセージを参考にする。

毎年教皇様は、1月1日(神の母聖マリアの日)の「世界平和の日」にあたり、教皇メッセージを出されます。日本語訳は、中央協議会のホームページに掲載されています。2018年のテーマは、「移住者と難民、それは平和を探し求める人々」です。この内容に沿った学習や講演会などが考えられます。

### ② 日本司教団の平和メッセージを参考にする。

日本司教団は、戦後50年、60年などの機会に、司教団の平和メッセージを出しています。これも中央協議会のホームページに掲載されています。また、平和旬間を前に、毎年7月に日本カトリック司教協議会の会長談話を発表しています。これも、参考にしてください。

### ③ こどもたちが参加できる企画を考える。

こどもたちへの平和教育も大切です。こどもたちを対象とした企画や、こどもたちが参加できる企画も考えてください。

### ④ 外国人信徒の参加を呼びかける。

外国人信徒の参加によって、視野が広がることになります。彼らの体験や意見にも耳を傾け、ともに世界の平和のために考えたいと思います。

### ⑤ 他のキリスト教の教会、他宗教の人々、地域の人々と共に働く。

カトリック教会以外の人々とも、世界や現代日本の状況に目を向けて、ともに平和のために働くことも大切なことです。

以上